



1年生のみなさん、こんにちは。期末考査も終わり、寒さも本格化してきました。そして、3年生は共通テストまであと1カ月を切ったというところで、2年後はみなさんの番です。

サッカーW杯が気になって気もそぞろという人もいたかと思いますが、日本代表が試合に向き合う姿勢からは、学ぶものがあつたのではないかと思います。また、年末年始、何かとイベントが控えるこの時期。マスク着用、手洗い・うがいの励行など引き

続き感染症対策をしっかりと行って健康維持に留意しつつ、よい年を迎えてください。



## ◇◇◇ 10月末実施の「学びの基礎診断」の結果より ◇◇◇

10月末に受験した「学びの基礎診断」の個人成績表を返却しました。得点や順位だけを見て一喜一憂しても意味はありません。その他に見るべき点はたくさんあります。この「個人成績表」を活用し、今のうちに自分の「強み」をつくろう。

### ■設問別成績－日ごろの学習で何をすればいいかをねらいをつけてやってみる

この部分につきましては、著作権の関係により公開いたしません。

ここをみると、各教科における分野ごとの得点率が棒グラフで、全国平均得点率が折れ線グラフで表されているので、具体的にどの分野を強化すればよいのかが分かります。

たとえば、上記の「国語」の表を見てみると、「4漢文」の前に▼印がついています。▼印は「対策が必要な分野」を意味するので、まずはそこから復習するようにしましょう。

## ■前回、前年度の「学びの基礎診断」の結果と比較すると…

結果が届いたばかりなので詳細な分析はまだできていませんが、名東生の全般的な傾向を簡単に紹介します。

2回目の「学びの基礎診断」でしたので、前回との比較をすると、「国数英総合」の平均点偏差値は、57.5から57.2と微減しました。その要因は、偏差値55～60の中位層が減り、偏差値45～50の名東高としては下位層が若干増えたからだと言えます。一方で、クラス数が同じ現在の3年生と比較すると、各偏差値帯の割合はほとんど変わらないものの、偏差値45以下の層が倍以上いるのが気にかかります（3人→8人）。

高校での学びをきちんと進めている生徒とそうでない生徒との間で格差が生じているのかもしれない。英数国は入試科目としても重要ですし、そう簡単には実力がつきません。希望の進路を実現するためにも、今のうちに苦手分野を克服し、継続的に勉強する習慣を身につけておきたいですね。

## ◇◇◇ 国公立大と私立大、そのちがいは？ ◇◇◇

2学期期末考査の最終日、名市大入試説明会を開催しました。1・2年生を対象としたものでしたが、名市大のすべての学部の先生が来校され、45名の生徒が参加しました（右写真）。



前半は各学部の先生から学部の概要と入試についての説明を受けました。後半は学部ごとに分かれ、分散会を開きました。参加した生徒は、自分の志望する学部の先生からさらに詳しいお話を聞き、積極的に質問をしていました。生徒にとっても、大学の先生と直接対話できる、貴重な機会となったのではないかと思います。

さて、名市大は公立大ですが、国公立大と私立大のちがいは何でしょうか？ 先日、2年生向けにお話を下さった河合塾の方の資料を一部引用しました。

### ■国公立大学の特徴

- 世界の第一線での研究
- 研究資金(科研費)が豊富
- 高い大学院進学率
- 少人数の教育
- 学費など経済的に安い
- 就職支援も充実し始めた など



### ■私立大学の特徴

- 独自性が高い(建学の精神)
- 多様な学部が設置(とくに文系)
- 有名教授がいる(大学もある)
- 就職支援の取り組み
- 資格対策講座の設置
- 充実した奨学金制度 など

国公立大と私立大のちがいというところ、入試科目の負担や学費の面ばかりが目立ちますが、その他にも教育面において大きな違いがあります。大学は入学すれば少なくとも4年間学ぶ場となるわけですから、「将来に向けて何をどう学びたいか」を意識して、「行ける大学」ではなく「行きたい大学」を選ぼう！

## ◇◇◇◇ 2025 年度入試から変わる共通テスト ◇◇◇◇

今年度から全国の高校で新しいカリキュラムが始まりました。それにともなって、みなさんが大学受験をするときから、出題教科・科目について変更されます。共通テストについても、11月9日、大学入試センターが出題方法等の予告、試作問題などを公表しました。とくに話題になったのは、教科「情報」の試験と、国語の試験時間が10分延長されることにともなって、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点（古文・漢文各45点）となったことです。また、試験時間割についても、下記のようなイメージが公表されました。実際の試験時間割は、現在、大学入試センターで検討しているところです。

1 日目		2 日目	
2 科目受験 9 : 30～11 : 40	地理歴史	2 科目受験 9 : 30～11 : 40	理科
1 科目受験 10 : 40～11 : 40	公民	1 科目受験 10 : 40～11 : 40	
13 : 00～14 : 30	国語	13 : 00～14 : 10	数学①
15 : 20～16 : 40	外国語	15 : 00～16 : 10	数学②
17 : 20～18 : 20	リスニング	17 : 00～18 : 00	情報

また、各大学が共通テストや個別試験でどの科目を受験生に課すのかという点についても、今年度中に発表することになっています。名東生が例年受験するような大学については、「進路だより」で発信していく予定です。

### ■大学入学共通テストチャレンジ

2年後に受験する「共通テスト」とはどのようなテストなのでしょう？ それを具体的に知ることができるイベントが本番の共通テストとほぼ同じ時期に行われます。それが、河合塾の「大学入学共通テストチャレンジ」です。

2023年1月14日（土）・15日（日）に実施される問題と同じ問題で、15日（日）12時から17日23時59分までの間にパソコンやタブレットなどで解答します（18日（水）から22日（日）18時までの期間でも各自の自由な時間で参加できます）。

**申し込みは、2023年1月6日（金）15時まで。無料です。**詳しくは各教室に掲示されているチラシをご覧ください。

この部分につきましては、著作権の関係により公開いたしません。

# Information

## ◆ 愛知県立大学は令和7年度の入試科目を発表しました！

愛知県立大学は、11月、ホームページを通じて令和7年度入試における実施教科・科目及び配点等について発表しました。ぜひ愛知県立大学のホームページをご覧ください。

**看護学部**と情報科学部において、共通テストで「情報Ⅰ」が入試科目となっています。看護学部では、650点満点中50点、情報科学部では、1,000点満点中150点が「情報Ⅰ」の配点となっています。2年生で学ぶ情報の授業もしっかり受けよう。

## ◆ 名古屋大学も令和7年度以降の入試科目を発表しました！

名古屋大学は、12月6日、ホームページを通じて令和7年度以降の入学選抜について（大学入試共通テストの利用教科・科目等）を発表しました。ぜひ名古屋大学のホームページをご覧ください。

気になる「情報」の扱いですが、一般選抜における「情報Ⅰ」の配点について、工学部は35点（全教科635点満点）、その他の学部は50点（全教科950点満点）を予定しています。

なお、各教科の満点については、各教科・科目の配点を検討中のため、変更の可能性があります。

## ◆ 3学期実力考査の時間割

	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限
1月10日(火)	始業式		数学①	数学②			
1月11日(水)	国語		英語 *リスニングなし		社会 (歴+公)	物理	
1月12日(木)	普	生物	授業				
	英	授業					

### <1月10日(火)>

1・2限 始業式等

15分放課

3限 10:05~10:55

15分放課

4限 11:10~12:00

### <1月11日(水)>

1・2限 8:45~10:26

14分放課

3・4限 10:40~12:21

昼放課(39分)

5限 13:00~13:50

15分放課

6限 14:05~14:55

### <1月12日(木)>

1限 8:45~9:35

15分放課

2限 9:50~10:40(50分授業)

15分放課

3限以降は46分授業

7限終了時刻は15:51

\*試験範囲については、教務部のプリントを参照してください。